



東北福祉大学
Tohoku Fukushi University



目的意識・柔軟対応・継続性

文部科学省「学生支援推進プログラム」採択事業
(平成21年度～平成23年度)

求人情報提供のICT化による

アウトリーチ型 就職支援教育の展開



事業の概要

日時: 2010年3月1日(月)
 文部科学省学生支援推進プログラム意見交換会
 東北福祉大学講師 アウトリーチ・プログラム担当 森 明人
 Email: akito@tfu-mail.tfu.ac.jp

2010/3/1
©TFU-Outreach Program
1

アウトリーチ型とは？

■辞書によると・・・

- －手を伸ばすこと; [U][C]手を伸ばした距離; 到達距離.
- －地域社会への) 奉仕[援助, 福祉]活動; (公的機関や奉仕団体の) 現場出張サービス.

- 学生動向(特に低意欲層やフェルトニーズを有する層)の把握と活用により、チャンス・ロスが生じている学生を対象にして、ニーズに応じてカスタマイズされた対策講座ならびにマッチングを図っていこうとする、能動的な姿勢や態度、働きかけ方等を意味し、具体的には、3つに類型化した就職支援サービスのことをいう。

なぜ、アウトリーチする必要があるのか？

【背景】

キャリアマインドの未成熟・スキル獲得のつまずき
(キャリア教育ステージの無関心・つまづき・失敗)



【原因】

就活の出遅れ・活動量の不足・活動の失敗
(自己認識、社会認識、意思決定スキルの不足)



【結果】

意欲低下・活動の停滞
(現実感の不足、あきらめ、混乱)



【影響】

適切なマッチング機会の放棄によるチャンス・ロス

2010/3/1

©TFU-Outreach Program

3

チャンス・ロスを招く原因の除去!!

【自己認識の欠如】 キャリアカウンセリング

1. キャリアマインドを身につけていないことによる就職活動の失敗
→コラボレーション型により中長期的な観点からキャリアマインドの醸成を図っていく。

【社会認識の欠如】 業界・企業別ミニガイダンス

2. 情報不足・活動方法を身につけていないことによる就職活動の失敗

→小集団の特性に応じた対策・フォローアップ講座の開設

【意思決定の欠如】 地域別マッチング、企業別マッチング

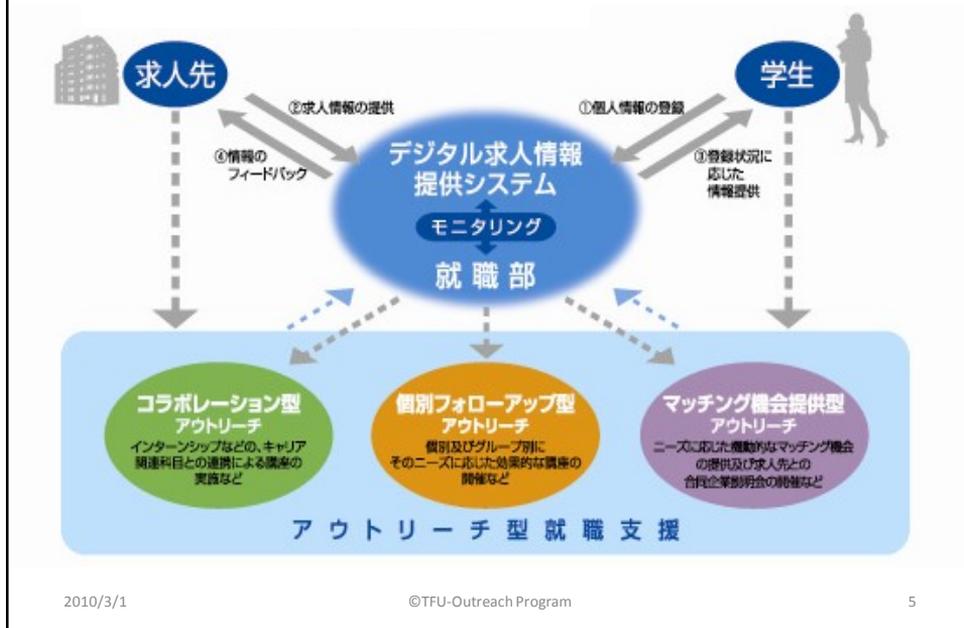
3. 希望・適性と業界選択のミスマッチによる就職活動の失敗
→実績・動向をもとに開催するセミナー・合同企業説明会によるきめ細やかなマッチング機会の創出

2010/3/1

©TFU-Outreach Program

4

アウトリーチ型就職支援教育の全体概要



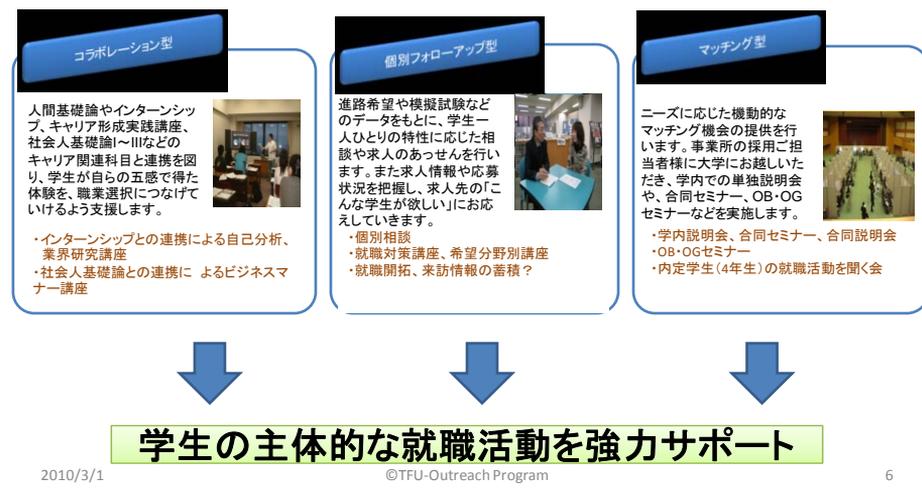
求人情報提供のICT化によるアウトリーチ型就職支援教育の展開

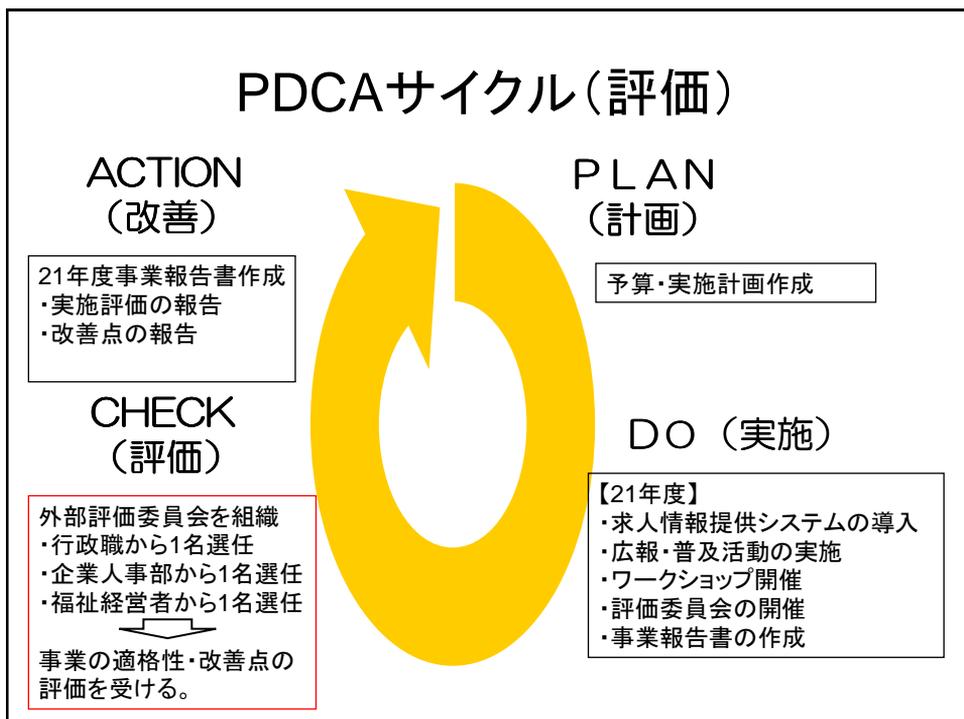
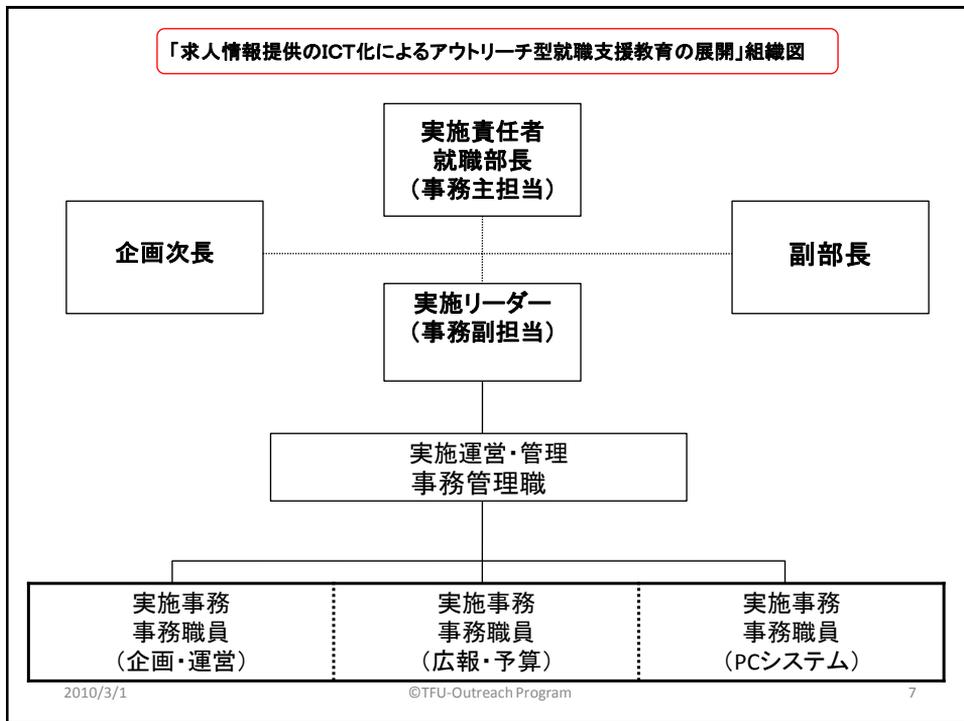
アウトリーチ型就職支援教育(3類型)

アウトリーチ型就職支援教育の内容は、具体的に下記の3タイプに分類できます。

1	キャリアデザインの基礎を設計する コラボレーション型	2	自己のキャリアデザインに向かって 具体的プランの作成と対策を行う 個別フォローアップ型	3	実際のキャリアステップの第一歩となる 就職の選択を行う マッチング提供型
---	-------------------------------	---	---	---	--

これら3つは、キャリア教育ならびに就職支援と同一の時間軸上に位置づけられ、順次効果的な組み合わせと展開により、テラレメイドな就職活動のサポートを実現していきます。





本取り組みの実施計画

【21年度】

9月～2月 デジタル求人情報提供システムの導入

9月～3月 広報・普及活動の実施

1月～2月 ワークショップ開催

2月～3月 評価委員会の開催

3月～4月 事業報告書の作成

【22年度】

7月～3月 職員研修ワークショップ開催

10月～3月 個別・集団別フォローアップ講座の開催(アウトリーチ型支援)

10月～3月 コラボレーション型講座の開催(アウトリーチ型支援)

1月～3月 キャリアサポート・フォーラム開催

2月～3月 外部評価委員会の実施

3月～4月 事業報告書の作成

【23年度】

7月～8月 職員研修ワークショップ開催

4月～3月 個別・フォローアップ型講座の開催(アウトリーチ型支援)

4月～3月 コラボレーション型講座の開催(アウトリーチ型支援)

6月～3月 マッチング型企業説明会の開催(アウトリーチ型支援)

8月～3月 キャリアサポート・ワークショップ開催

2月～3月 外部評価委員会の開催

3月～4月 事業報告書の作成

2010/3/1

©TFU-Outreach Program

9

今後の課題

1. 学生動向の分析、学生登録者数の増加、低意欲・低活動学生へのアウトリーチ強化
2. 学部教育、キャリア教育との接合部分の明確化とガイダンス力の強化、そのためのSD/FD
3. 教学、学部・学科、体育会、サークルとの連携・協働体制の構築、情報発信力の強化

2010/3/1

©TFU-Outreach Program

10